

問1 日本最大の前方後円墳である大仙古墳など、古墳時代の遺跡や出土品に関する説明として誤っているものを、次のうちから1つ選びなさい。

(2026年 徳島県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|---|
| 1. 古墳の周囲や墳丘には、素焼きの土器である埴輪が並べられた。 | 2. 大仙古墳のように円形と方形を組み合わせた形状の古墳が造られた。 | 3. 豪族の権威を示すための副葬品として、銅鏡や鉄剣などが納められた。 | 4. 女性の姿などをかたどった土偶が、魔よけや豊かな収穫を祈るために作られた。 |
|----------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|---|

問2 古墳時代に、大山古墳（仁徳天皇陵）のような巨大な前方後円墳が築造された歴史的な背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。

(2023年 神奈川県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 大和政権（ヤマト王権）の王が、自らの強大な権威や動員できる労働力の大きさを各地の豪族に誇示するため。 | 2. 海外からの侵略を監視し、防衛するための軍事的な物見櫓や要塞として機能させるため。 | 3. 大規模な稲作の普及により余った土地を、洪水から守るための避難場所として整備するため。 | 4. 大陸から伝来した仏教の教えに基づき、故人を盛大に供養することで国家の安寧を祈願するため。 |
|---|---|---|---|

問3 5世紀後半、現在の埼玉県にある稲荷山古墳と熊本県にある江田船山古墳から、金象嵌（きんぞうがん）で文字が刻まれた鉄剣や鉄刀が出土しました。これらの出土品に共通して刻まれていた人物の名と、そこから推測される当時のヤマト政権（大和政権）の状況として適切なものはどれですか。

(2020年 和歌山県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 卑弥呼の名が刻まれており、邪馬台国の勢力が西日本から東日本一帯に広がっていたことがわかる。 | 2. 中大兄皇子の名が刻まれており、律令に基づいた地方支配が関東や九州まで及んでいたことがわかる。 | 3. 聖徳太子の名が刻まれており、天皇を中心とした中央集権体制が全国で完成していたことがわかる。 | 4. ワカタケル大王の名が刻まれており、ヤマト政権の勢力が九州北部から関東地方まで及んでいたことがわかる。 |
|--|---|--|---|

問4 4世紀から7世紀頃、大陸から日本列島へ移住した人々が、大和政権の成長や社会の発展に与えた影響として、最も適切な説明はどれですか。

(2026年 山形県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 遣隋使や遣唐使として大陸に派遣され、最新の政治制度を学んで帰国した後に律令国家の建設を主導した。 | 2. 須恵器の製作技術や漢字、仏教などを伝え、政権の組織づくりや文化の発展に大きく貢献した。 | 3. 稲作の技術を初めて日本に伝え、狩猟や採集を中心とした社会から定住社会への転換を促した。 | 4. 九州沿岸の警備にあたる防人として任命され、大陸からの侵攻を防ぐ軍事的な役割を専門に担った。 |
|---|--|--|--|

問5 5世紀後半の日本列島において、大和政権の支配力が関東地方から九州地方にまで広く及んでいたことを示す歴史的背景として、最も適切な説明を選びなさい。

(2019年 長崎県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 埼玉県の稲荷山古墳と熊本県の江田船山古墳から、同一の最高権力者である大王の名を刻んだ鉄剣・鉄刀が出土した。 | 2. 邪馬台国の女王である卑弥呼が魏から贈られた親魏倭王の称号を、地方の有力豪族に分け与えて統治した。 | 3. 聖徳太子が十七条の憲法を制定し、地方の豪族に対して大王への忠誠を誓わせる制度が全国に普及した。 | 4. 白村江の戦いでの敗北を機に、関東から九州にかけて山城や防人が配置され、軍事的な中央集権化が進んだ。 |
|--|---|--|--|

問6 日本最大級の規模を誇る前方後円墳である大仙古墳（大山古墳）が位置する場所として正しいものはどれですか。日本全国をいくつかの地域に分けた際、現在の大阪府堺市が含まれる地方の名称を選択しなさい。

(2024年 茨城県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 東北地方 | 2. 関東地方 | 3. 九州地方 | 4. 近畿地方 |
|---------|---------|---------|---------|

問7 ヤマト王権が巨大な前方後円墳を築き、その周囲に武装した人物の像などの埴輪を並べたり、鉄剣に首長の称号を刻んだりした歴史的な背景として、最も適切なものはどれですか。

(2015年 岡山県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 貴族による摂政・関白の政治を安定させるための儀式として行ったため | 2. 各地の豪族に対して、王権の強大な軍事力や政治的な支配力を示すため | 3. 仏教を全国に広めるために、寺院の代わりとして巨大な墓を建立したため | 4. 大陸から伝わった稲作の技術を記念し、収穫を祝う祭祀の場とするため |
|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|

問8 熊本県の江田船山古墳から出土した鉄刀と、埼玉県の稲荷山古墳から出土した鉄剣には、いずれも「ワカタケル大王」の名が刻まれていました。この事実から推測される、5世紀ごろの大和政権の勢力範囲に関する説明として、最も適切なものを選びなさい。

(2014年 和歌山県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 大和政権の勢力は、大陸の影響を強く受けていた九州地方のみに限定されていた。 | 2. 大和政権の勢力は、九州北部から関東地方南部におよぶ広い範囲に広がっていた。 | 3. 大和政権の勢力は、近畿地方とその周辺の非常に狭い範囲に限定されていた。 | 4. 大和政権の勢力は、東北地方から九州南部に至る日本列島のほぼ全域を支配していた。 |
|--|--|--|--|

問9 航空写真などの上空からの視点で見ると、前方部が方形（四角形）、後方部が円形をしており、全体として巨大な鍵穴のような形状をしている日本独自の古墳の名称として適切なものはどれか。

(2020年 佐賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|-------|----------|--------|
| 1. 方墳 | 2. 円墳 | 3. 前方後円墳 | 4. 八角墳 |
|-------|-------|----------|--------|

問10 中国の歴史書である『宋書』倭国伝には、5世紀に倭の五王が中国へ使者を送ったことが記されています。この「五王」が朝貢（皇帝への貢ぎ物）を行った相手である、当時の中国の勢力を何と呼びますか。

(2024年 大阪府公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|------|-------|------|
| 1. 北朝 | 2. 唐 | 3. 南朝 | 4. 隋 |
|-------|------|-------|------|

問11 5世紀頃、日本の王たちが中国の皇帝に使節を送った背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。

(2017年 鳥取県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 仏教を日本に広めるために、中国から高僧を招くとともに、寺院建築や経典などの進んだ文化を公的に導入するため。 | 2. 遣唐使を廃止することで大陸との交流を制限し、日本独自の国風文化を育むとともに、律令国家の形成を早めるため。 | 3. 中国の皇帝から地位の承認を得ることで、朝鮮半島での軍事的な外交関係を有利に進めたり、高度な技術を導入して統治を強固にするため。 | 4. 後漢の皇帝から「漢委奴国王」と刻まれた金印を授かり、九州北部における小国の連合を束ねる権威を確立するため。 |
|--|--|--|--|

問12 埼玉県にある稲荷山古墳から出土した鉄剣には「獲加多支鹵大王」という称号が刻まれています。これと同様の称号が記された鉄刀が熊本県の江田船山古墳からも出土していることから推測できる、5世紀後半の日本の政治状況として最も適切な説明を選んでください。

(2021年 大阪府公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|--|
| 1. 東北地方から九州地方まで、完全に統一された律令国家が成立していた。 | 2. 各地域の豪族が独自の王号を名乗り、中国の王朝と直接外交を行っていた。 | 3. 邪馬台国の卑弥呼による統治が、近畿地方を中心に安定していた。 | 4. 大和政権（ヤマト王権）の支配力が、関東から九州におよぶ広い範囲に広がっていた。 |
|--------------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 女性の姿などをかたどった土偶が、魔よけや豊かな収穫を祈るために作られた。	土偶は縄文時代に作られたものであり、古墳時代のものではありません。古墳時代には、古墳の周囲に埴輪が立てられ、内部には副葬品として銅鏡や鉄剣などが納められました。
問2	答え 1 大和政権（ヤマト王権）の王が、自らの強大な権威や動員できる労働力の大きさを各地の豪族に誇示するため。	古墳時代において、巨大な前方後円墳を築くには膨大な年月と膨大な人数の労働力が必要でした。このような大規模な土木工事を行うことができた事実は、その被葬者が広範囲に及ぶ支配権と財力を持っていたことを象徴しています。また、前方後円墳という特定の形式が日本各地に広がったことは、大和政権（ヤマト王権）を中心とした政治的な連合や身分秩序が各地の豪族との間に形成されていたことを示しています。
問3	答え 4 ワカタケル大王の名が刻まれており、ヤマト政権の勢力が九州北部から関東地方まで及んでいたことがわかる。	埼玉県の稲荷山古墳と熊本県の江田船山古墳という、遠く離れた二つの地域から同一の王である「ワカタケル大王（雄略天皇）」の名を記した文字資料が出土したことは、当時の歴史を知る上で極めて重要です。この事実は、5世紀後半にはヤマト政権の政治的な支配力が、九州北部から関東地方にまで及ぶ広大なものになっていたことを裏付けています。この大王は、中国の歴史書『宋書』倭国伝に登場する「倭の五王」の一人である「武」と同一人物であると考えられています。
問4	答え 2 須恵器の製作技術や漢字、仏教などを伝え、政権の組織づくりや文化の発展に大きく貢献した。	移住した人々は、須恵器の製作、金属器の加工、養蚕、織物といった実用的な技術だけでなく、漢字や仏教、儒教といった学問や宗教も伝えました。これらの知識や技術は、大和政権が国内を統治するための公文書作成や、国家としての権威を高めるための寺院建築などに活用され、古代日本の国家形成において不可欠な役割を果たしました。なお、稲作の伝来は弥生時代、防人の制度は7世紀後半の白村江の戦い以降に本格化したものです。
問5	答え 1 埼玉県の稲荷山古墳と熊本県の江田船山古墳から、同一の最高権力者である大王の名を刻んだ鉄剣・鉄刀が出土した。	埼玉県の稲荷山古墳で出土した鉄剣には「獲加多支鹵大王（ワカタケルオオキミ）」という文字が刻まれていました。同様の銘文を持つ鉄刀が熊本県の江田船山古墳からも見つかったことから、5世紀後半には近畿地方の大和政権が、関東から九州に至るまでの広い範囲を勢力下に置いていたことが実証されています。
問6	答え 4 近畿地方	5世紀頃、現在の大阪府や奈良県などを含む近畿地方を中心に、巨大な前方後円墳が数多く造られました。大仙古墳は、当時の大和政権（ヤマト王権）の首長である大王の権力を象徴するものであり、現在の大阪府堺市に位置しています。
問7	答え 2 各地の豪族に対して、王権の強大な軍事力や政治的な支配力を示すため	古墳の巨大化や、武人などをかたどった埴輪の設置、そして「大王」という称号を刻んだ鉄剣を配ることは、ヤマト王権の優れた技術力や軍事的な権威を内外に示す目的がありました。これにより、各地の有力な豪族を自らの支配下に組み込み、連合政権としての基盤を固めていきました。
問8	答え 2 大和政権の勢力は、九州北部から関東地方南部におよぶ広い範囲に広がっていた。	九州（熊本県）と関東（埼玉県）という、当時の交通手段では非常に遠く離れた2つの地点から同じ大王の名を記した刀剣が出土したことは、大和政権の支配力がその両地域にまで及んでいたことを客観的に証明するものです。一方で、この時代の支配が東北地方にまで及んでいたことを示す証拠は見つかっていないため、範囲の特定には注意が必要です。
問9	答え 3 前方後円墳	3世紀後半から6世紀にかけて、ヤマト政権の勢力下にあった地域で築かれた日本独自の形式です。大阪府の大仙古墳（伝仁徳天皇陵）に代表されるように、大規模なものは当時の有力者の権力を象徴しています。
問10	答え 3 南朝	当時の中国は、南北に王朝が分かれて対立する「南北朝時代」にありました。倭の五王（讃・珍・済・興・武）は、そのうち南側の「宋」などの王朝、すなわち南朝に使者を送りました。北朝は主に華北を支配していた別の勢力であり、隋や唐はのちに中国を統一した、より新しい時代の王朝です。
問11	答え 3 中国の皇帝から地位の承認を得ることで、朝鮮半島での軍事的・外交関係を有利に進めたり、高度な技術を導入して統治を強固にするため。	5世紀の「倭の五王」は、中国の南朝へ繰り返し使節を派遣しました。当時の倭王は、朝鮮半島における軍事的な指揮権を含む称号を中国の皇帝から授かることで、国際的な地位を確立し、周辺諸国との外交を有利に進める狙いがありました。また、これに伴い鉄製武器の製造技術や須恵器などの新しい技術を大陸から導入し、国内の支配力を高めていきました。
問12	答え 4 大和政権（ヤマト王権）の支配力が、関東から九州におよぶ広い範囲に広がっていた。	遠く離れた埼玉県の稲荷山古墳と熊本県の江田船山古墳の両方から、同一の大王（ワカタケル大王）の名を記した遺物が出土したことは、その大王を中心とする大和政権の権威や支配力が、すでに関東から九州まで広範に及んでいたことを裏付ける有力な証拠となっています。